

恩師および
同窓生訪問

監物博先生・数学(六期)

写真公募展で特選を受賞!

日本リアル
ズム写真展
「視点」

昭和三九(一九六四)年四月

昭和五三(一九七八)年三月まで

母校である雪谷高校で数学を教えていらした監物先生が、写真の公募展で特選を受賞されました。

「ああ昭和 池上線沿線探訪」

そう題された八枚組の白黒写真は、御嶽山・石川台駅周辺の古い民家や、旗の台駅の木製ベンチ、自転車の荷台につけられた酒屋さんの籠など、なつかしい匂いがする作品。

先生は雪谷高校を卒業後、教育大に進学し、教員となられて初めて赴任された武蔵野三中に三年間、勤められたあと、雪谷高校に異動になりました。

平成十九年六月一日から開催された東京都美術館での写真展には、

雪谷高校時代の同期生や教え子、武蔵野三中の教え子も大勢いらしていました。

ああ昭和 池上線沿線探訪

写真は学生時代から始め、就職してカメラを購入。勤務先の武蔵野三中から新宿経由で御嶽山のご自宅への帰り道、中野で途中下車して、夜間の写真学校に一年ほど通われました。教員時代は写真部の顧問をされ、現在も写真学校に通うなど、写真への情熱は衰えを知りません。

衰えを知りません。

今回の写真展は、写真学校のお仲間から勧められて応募なさった

そうです。

そんな先生も雪谷高校在学中は化学部に所属していました。

当時、化学部の顧問は、NHK教育テレビに出演されていた大竹(西平)輝子先生でした。

六期の同期生には、作家の佐野洋の弟であり、プロのカメラマンになった丸山茂さんもいらっしゃいました。

先生は雪高在職中には自転車通勤。鞆代わりの風呂敷包みを覚えていた教え子の方も多かったです。

雪高野球部が甲子園出場を決めた時には、日本史の児玉太刀男先生を始め、同僚だった先生方と自由が丘に集合して、野球部の顧問だった数学の山崎剛先生を囲み、祝杯を上げられたそうです。